

社会福祉法人 聖マリア会

令和5年度 事業報告書

事業の実施状況

開設後24年が経過し、設備機器等の老朽化や新型コロナウイルスの施設内クラスター発生、物価高、光熱水費の高騰などが経営に影響し厳しい状況となりましたが、利用者サービスの一層の向上を図るべく各事業に取り組んでまいりましたので、その概要を次のとおり報告いたします。

(1) 利用者の尊重と自立支援

利用者がみどりの郷に入所し尊厳のある生活を継続していくため、ノーリフティングケア(24時間トータルケア)の知識と援助技術の向上を図り、チームで連携して支援しました。

またせせらぎでは各個人の状態に合った必要な介護サービスが受けられるよう援助し、環境設定など細かな目配り・気配りをして安定的な生活が送れるように努めました。

(2) 健全で安定的な財務基盤の確立

① L I F E (科学的介護情報システム)に対応する基盤整備や愛媛県ICT機器導入補助金を活用して、介護現場の業務を効率的に行うための新しい介護システムを導入しました。

② エネルギーコストについては、今年度電気・ガス価格激変緩和対策事業により緩和されていましたが、今後はより具体的対策を進めます。

③ 職員に対して、介護職員等支援補助金による処遇改善手当の増額を図りました。

④ 設備機器等の老朽化や突発的な故障に対して、優先順位を考慮して対応しました。

(3) 事業継続による生活の確保・維持

各事業所において感染症や自然災害に備えた事業継続計画(BCP)を策定して、自然災害や感染症の流行といった不測の事態が発生した場合であっても、利用者に対して安定的・継続的にサービスを提供できるよう研修や訓練を行いました。

(4) 虐待防止のための対策

虐待の取り組みを強化するために、運営委員会で計画的に準備を進め、「高齢者虐待の為の指針」を作成するとともに全職員に虐待防止の基礎知識を身につけるための研修を行いました。また利用者の人権擁護、虐待防止の観点から各事業の運営規程に虐待防止に関する事項を追加し、令和6年度から指針に沿って本格運用していきます。

(5) 職員の確保・育成・定着と業務の効率化

良質な福祉人材の確保・定着のため、①感染症特別休暇制度の取り入れ②ICT(情報通信技術)・AI(人工知能)活用による業務の効率化を行うことで、職種間の情報共有が円滑にでき、転記作業を大幅に軽減することによって、職員の精神的・身体的負担を軽減することが実現できました。

また法人全体でノーリフティングケア(24時間トータルケア)を推進し、確かな知識と援助技術を習得するとともに、オンライン研修を通じて接遇力、人間力を向上させました。

(6) 地域貢献(第1回地域交流会)

地域に根差した福祉の拠点となるために、地域の方々との交流の機会を持ち、お互いの信頼関係を深めながら情報共有を行うことを目的に、施設の活動内容の報告や見学等を実施しました。

1. 法人の概要

1. 法人名 社会福祉法人 聖マリア会
2. 所在地 愛媛県今治市上徳甲110番地1
3. 法人の事業
 - (1) 第一種社会福祉事業
 - (イ) 特別養護老人ホームの経営
 - (ロ) 軽費老人ホームの経営
 - (2) 第二種社会福祉事業
 - (イ) 老人デイサービス事業の経営
 - (ロ) 老人短期入所事業の経営

2. 役員等の状況

構成（令和6年3月31日現在）

理事	定数	6名以上11名以内	（現員 8名）
監事	定数	2名以内	（現員 2名）
評議員	定数	7名以上12名以内	（現員 9名）

3. 令和5年度理事会開催状況

開催年月日 出席人数	議案
令和5年6月7日 理事 8名 監事 2名	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和4年度事業報告について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和4年度決算について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会次期役員候補者の推薦について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会定時評議員会の開催について 第5号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について 報告事項1 専決事項報告書
令和5年6月22日 理事 8名 監事 2名	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会理事長の選任について
令和6年3月27日 理事 6名 監事 2名	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和5年度補正予算について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会令和6年度事業計画について 第3号議案 社会福祉法人聖マリア会令和6年度予算について 第4号議案 社会福祉法人聖マリア会ハラスメント防止規程の制定について 第5号議案 社会福祉法人聖マリア会職員就業規則の一部改正について 第6号議案 社会福祉法人聖マリア会定款施行細則の一部改正について 第7号議案 特別養護老人ホームみどりの郷運営規程の一部改正について 第8号議案 ショートステイみどりの郷運営規程の一部改正について 第9号議案 デイサービスセンターみどりの郷（地域密着型通所介護）運営規程の一部改正について 第10号議案 デイサービスセンターみどりの郷（通所型サービス）運営規程の一部改正について 第11号議案 ケアハウスせせらぎ運営規程の一部改正について 第12号議案 社会福祉法人聖マリア会職員給与規程の一部改正について 報告事項1 専決事項報告

4. 令和5年度評議員会開催状況

開催年月日 出席人数	議案
令和5年6月22日 評議員 8名 出席理事 1名	第1号議案 社会福祉法人聖マリア会令和4年度決算について 第2号議案 社会福祉法人聖マリア会理事及び監事の選任について 報告第1号 社会福祉法人聖マリア会令和4年度事業報告について

5. 特別養護老人ホームみどりの郷

特別養護老人ホームみどりの郷の令和5年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和5年度稼働目標 稼働率95%に対して94.8%であった。

【原因】

ノーリフティングケアにおける実践力の強化を行い、入所者にも職員にも優しいケアを定着させ、多職種連携と各委員会の積極的取り組みで、入所者の生活が安定し、入院者数を減らすことができた。そのことが職員のやりがいにつながり離職率の低い状態を維持することで、さらに良いケアが提供できるようになった。

また、生活相談員の役割を明確にし、入退所業務を最優先させることが目標稼働率に近づけた要因だと考える。

【対策】

6月にインフルエンザの感染、1月末から2月中旬にかけて新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した。感染の発生は稼働率や施設運営に直結する問題なので、さらに持ち込まない対策、拡げない対策を講じて万全の体制を整える必要がある。

2. 【実績】

ノーリフティングケアについては各職員が利用者の自立を目標に支援してきた。職員が個々で利用者のことを考え実行することで、レベルが上がり、一人ひとりが利用者の安心・安全のために取り組むことができた。

看取りケアは対象者がいなかったもので、一年間かけて取り組み方や考え方の土台を整える時間をとり、いつ看取りケアが始まってもいい体制を作ることができた。

ICT、介護ロボットについては記録を紙媒体からデータにすることで、記録内容が充実するとともに時間と経費の削減につながった。

その他の4つの目標に対しても、各委員会を中心に職員全体で取り組むことができた。

(1) 定員 58名 令和6年3月31日現在
 個室 14、4人部屋 11

(2) 入所者 58名 男性 13名
 女性 45名

(3) 入所者年齢

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
男性	0	3	7	3	0	13
女性	2	2	19	20	2	45
計	2	5	26	23	2	58

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男性	73歳	92歳	84.3歳
女性	68歳	100歳	88.7歳
計	68歳	100歳	87.7歳

(4) 年度別利用状況

年度	日数	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
5年	366	20,118	54.97	94.8	
4年	365	20,068	54.98	94.8	
3年	365	19,669	53.89	92.9	

(5) 入退所状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- 入所者 13名 入所前居所 (自宅8名、老健4名、病院1名)
- 退所者 12名 退所理由 (長期入院 6名、死亡5名、
 本人・家族希望 1名)

(6) 現入所者の入所年度

24～27年度	28～29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	計
3名	7名	6名	4名	3名	15名	8名	12名	58名

(7) 現入所者の平均在所日数

- 5年度 1,232日 (3年04月)
- 4年度 1,081日 (2年11月)
- 3年度 989日 (2年08月)

(8) 入所者の年間平均介護度

- 5年度 4.08
- 4年度 4.02
- 3年度 4.15

(9) 特例措置による入所状況 0日

(10) 入所待機者 173名 (他施設との重複含む)

(11) 入所検討委員会開催
年4回 (4月、7月、10月、1月)

6. 短期入所（ショートステイ）事業

ショートステイみどりの郷の令和5年度事業計画は以下のとおりで、それに対する実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和5年度稼働目標 稼働目標40%に対して37.7%であった。

【原因】

ショートステイは特養と一体的に運営されるため、特養平均入所者数とショートステイ平均利用者数を合わせて全体で60名に近づくことを目標にしている。特養入所者定員58名のうちの入院や退所での欠員を補うことも含め、ショートステイ一日平均利用者人数4名を目標に調整している。しかし特養での6月のインフルエンザ感染、1月末からの新型コロナウイルス感染のクラスター発生によりショートステイ受け入れを中断せざるを得ない時期があったため、年間のショートステイ平均利用者数は3.39名にとどまった。

【対策】

今回の新型コロナウイルス感染クラスターの発生源はショートステイ利用者からで、感染拡大は施設内の日頃からの感染対策と初動体制の甘さに原因があった。今後はショートステイ受入時の健康確認と抗原検査の実施、利用中の健康管理と感染対策体制を強化して対応する。

2. 【実績】

利用者及び家族の意向に沿えるよう柔軟な対応と個別ケアの提供を職員間で情報共有し、協力し合いながら質の向上に努めた。また、ノーリフティングケアの知識と技術を、要望のある家族へ情報提供し、ご自宅・施設に係わらず快適な生活を送るための手助けができた。

利用者の安全と過ごしやすい環境に配慮しつつ、ベッド周辺環境と行動面から予測される事故に関して、利用者ごとに職員間で申し送りを行い予防に努めた。また家族に対しても日頃からの情報共有と信頼関係を築く努力をし

てきた。起きてしまった事故に関しては原因を確認し、再発防止に努めた。

今後もリピートにつながる安全で快適な利用ができるよう、個別ケアと事故防止を万全の態勢で継続する。

(1) 定員 9名 (予防型含む)

(2) 年度別利用状況

年度	日数	実利用人員	延利用日数	1日当人員	利用率	備考
5年度	366	192 (3)	1,241 (14)	3.39	37.7	1人当平均利用日数 6.46日
4年度	365	163 (1)	949 (5)	2.60	28.9	5.82日
3年度	365	138 (2)	748 (4)	2.05	22.8	5.42日

() 内は介護予防分を再掲

(3) 利用者の年間平均介護度

5年度 2.80
4年度 2.64
3年度 3.27

7. 地域密着型通所介護（デイサービス）事業

デイサービスセンターみどりの郷（地域密着型）の令和5年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。（詳細な数字は末尾に表示）

1. 令和5年度稼働目標 稼働目標85%に対して73.4%であった。

【原因】

延べ回数が多い利用者の利用中止が大きく稼働率に響くことのないよう、一人当たりの利用回数を抑えながら利用者を増やしていけるよう努めたが、利用回数の少ない利用者だけを増やしても追いつかず、達成率は遠く及ばなかった。

【対策】

居宅介護支援事業所に周知を継続して新規利用者を獲得できるよう努める。リハはなくとも、ある程度の運動機会を確保できることや、余暇活動を積極的に行っていることなどを取引のある事業所にアピールしていく。

2. 【実績】

個々のサービス内容を再検討し、必要なこと・やりたいことを見つけられるよう努め、おおむね実践できた。しかし、時間内スケジュールについては大きく変更しておらず、できる時間にできる範囲でという限定的なものに終わったので再検討する。

新規事業所への営業は数件行うも、利用者獲得には至らなかった。既存の事業所のケアマネージャーへは報告を密に行い、一定の信頼を得ることができた。

新型コロナウイルス等の感染症の防止には常日頃から努めており、特養・ショートステイの影響は最小限に抑えることができた。

利用者の現在の状態や状況に常にアンテナをはり、生きがいを持てる・安心感のある心地よい利用ができるよう努め、必要時、ケアマネージャーや家族にも提案や相談を行っている。

職員にはそれぞれ役割分担を行い、責任感・やりがいを持って働ける環境を整えることができた。

- (1) 定員
- ア. 地域密着型 18名
 - イ. 通所型サービス 地域密着型の定員内
 - ウ. 認知症対応型 (休止)

(2) 営業日・サービス提供時間

- 1週間の営業日数 6日 (月～土曜日)
- 1日のサービス提供時間
 - ア. 地域密着型 6～7時間
 - イ. 通所型サービス 6～7時間
 - ウ. 認知症対応型 (休止)

(3) 年度別利用状況

区分 年度	(日) 開所日数	地域密着型		通所型サービス		認知症型		計		(人) 1日平均	(%) 利用率
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員		
5年度	307	333	3,228	127	828	-	-	460	4,056	13.2	73.4
4年度	308	338	3,792	71	448	-	-	409	4,240	13.8	76.5
3年度	256	231	2,449	72	485	93	1,038	396	3,972	15.5	51.7

(4) 利用者の年間平均介護度

区分	地域密着型	認知症対応型
5年度	2.45	-
4年度	2.39	-
3年度	1.72	3.77

(5) 配食サービス事業

今治市よりの受託事業 月～金 (昼食)

- 5年度 418食
- 4年度 435食
- 3年度 646食

8. ケアハウス事業

ケアハウスせせらぎの令和5年度事業計画は以下のとおりで、それに対しての実績、達成度を報告する。(詳細な数字は末尾に表示)

1. 令和5年度稼働目標 稼働目標 80%に対して 72.2%であった。

【原因】

入所問い合わせは増えてきているが、介護度が高い、認知症状がすすんでいるなど、ケアハウスの対象ではない方が多かった。

令和5年度後半には新規入所者4名獲得することができ、年度末時点での入所者数は23名となった。

入所者の体調や状態の把握に努め、介護サービスの提案を行うことで、退所者は1名と最小限にとどめることができた。

【対策】

入所者の健康状態や生活の様子を把握し、少しでも長く安心してケアハウスでの生活を続けられるような配慮を継続していく。

新規問い合わせに対しては、急ぎの希望でなくとも入所待機の案内をし、待機者には定期的に連絡を取り、状況を把握しておく。退所者が出ることになった際には、速やかに入所できるよう予め入所のご案内をすることで空室の期間を短くする。

2. 【実績】

入所者の個々の希望を尊重し、外出等についても可能な限り臨機応変に対応した。

入所者の生活状況を把握し、介護サービスの情報提供や追加などを提案し、入所者の意思を尊重したうえで、自己決定を促した。

9月には他事業所のデイを利用している入所者が新型コロナウイルスに感染した。その後2名の施設内感染者がでたが、他部署からの協力もあり感染拡大を防ぎ2週間で終息することができた。

地域包括支援センターや病院の地域連携室との連携で、新規入所者7名を獲得することができた。

(1) 定員 30名 (1人部屋 22 、2人部屋 4)

(2) 入所者 23名 男性 8名 女性 15名
 単身者 15名 夫婦 2名

(3) 現入所者の入所年度

25~27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	5年度	計
2名	3名	1名	2名	2名	2名	4名	7名	23名

(4) 入所者の年齢

	60～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90 歳以上	計
男 性	0	2	2	4	8
女 性	1	1	7	6	15

	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男 性	74 歳	92 歳	86.3 歳
女 性	67 歳	98 歳	86.9 歳
計	67 歳	98 歳	86.7 歳

(5) 入退所者の状況 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

入所者 7 名 入所前の居所 (自宅 4 名、病院 2 名、サ高住 1 名)
退所者 1 名 退所理由 (病院 1 名)

(6) 現入所者の平均在所日数

5 年度 1,314 日 (3 年 07 月)
4 年度 1,543 日 (4 年 02 月)
3 年度 2,117 日 (5 年 09 月)

(7) 入所者の要介護度状況

未認定者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
2 名	1 名	6 名	10 名	3 名	1 名	—	—	23 名